

## 地球電磁気学・地球惑星圏科学の現状と将来：地球電磁気・地球惑星圏学会での将来構想検討の取り組み

### Current status and future vision of the geomagnetism and earth, planetary and space sciences: SGEPS Future survey working group

\*加藤 雄人<sup>1</sup>、橋本 武志<sup>2</sup>、細川 敬祐<sup>3</sup>、山本 裕二<sup>4</sup>、SGEPSS 将来構想検討WG、渡部 重十<sup>5</sup>

\*Yuto Katoh<sup>1</sup>, Takeshi Hashimoto<sup>2</sup>, Keisuke Hosokawa<sup>3</sup>, Yuhji Yamamoto<sup>4</sup>, SGEPS Future survey working group, Shigeto Watanabe<sup>5</sup>

1. 東北大学、2. 北海道大学、3. 電気通信大学、4. 高知大学、5. 北海道情報大学

1. Tohoku University, 2. Hokkaido University, 3. The University of Electro-Communications, 4. Kochi University, 5. Hokkaido Information University

地球電磁気・地球惑星圏学会 (SGEPSS) では2017年度より、将来構想検討ワーキンググループ (WG) を常設化して、学会としての将来構想「地球電磁気学・地球惑星圏科学の現状と将来」の策定と定期的な更新に取り組んでいる。将来構想に関する議論と意見集約は、学会内に設けられた分科会や国際関連委員会、運営委員会から推薦されたWG委員を中心に取りまとめることとして、学会員からの意見集約を図っている。本発表では、この「地球電磁気学・地球惑星圏科学の現状と将来」の概要と、将来構想検討ワーキンググループの活動内容について紹介する。

キーワード：将来構想、地球電磁気・地球惑星圏学会

Keywords: future vision, Society of Geomagnetism and Earth, Planetary and Space Sciences